

平成20年6月9日

## 社団法人衛星放送協会 第10期事業報告

自平成19年4月1日 至平成20年3月31日

### I. 衛星放送協会

#### 1. 放送業界の概況とCS放送の状況

放送業界全体では、2011年の放送完全デジタル化に向けて、通信・放送の融合法制の具体化に向けた検討の進展、放送法改正による業界再編を促す規制緩和、ワンセグ放送の新たな展開、マルチメディア放送の検討、BS帯域での新たな放送事業認可等さまざまな動きが加速しています。

CS放送に目を向けると、DTHでは、124/8度の加入者減少に歯止めがかからず、110度も三波共用テレビの普及の後押しにもかかわらず124/8度の減少をカバーするのが精一杯という状況です。ケーブル加入者の増加も24万人と前年度比2/3と鈍化しています。更にIPTVも期待したほど伸びず、多チャンネルマーケット全体が足踏みの状態です。

放送のHD化が進む中、CSもHD化が必要と判断し、スカパーは124/8にH.264によるHD放送を、第1期(2008年10月)、第2期(2009年10月)と立ち上げる予定です。合計で60を越えるHDチャンネルが誕生しますが、これが多チャンネルの停滞を打破し、新たな飛躍の一助になればと期待しています。一方110度は帯域の制限からHD化への対応にはブレーキがかかっていますが、2011年に開放されるBS帯域を含めた議論の中で解決を模索する必要があると思います。

参考までにCS多チャンネル放送の第10期末の加入者数を以下に記します。

	07年度末	06年度末比
DTH(総登録件数)	414万	-2万
(内訳 スカパー！)	350万	-18万
( e2by スカパー！)	64万	+16万
ケーブルテレビ経由	647万	+24万
(内訳 デジタル)	365万	+100万
( アナログ)	282万	-76万
IP放送、スカパー光等	30万	+10万
合計	1091万	+32万

#### 2. 協会の活動

協会ではCS多チャンネル放送の認知度向上、番組の強化、加入者増加及び広告売上増加等を目指して活動をしていますが、第10期の事業として特に以下4点をあげること

が出来ると思います。

- 第9期に協会としてはじめて協賛する会員を募り認知向上・加入促進のキャンペーンを実施しましたが、第10期も引き続き以下のキャンペーンやイベントを実施しました。
  - ・ CS効果キャンペーン：124/8度対象、Web広告（通年、但し9月、12月、3月の3回に分けて実施）チャンネル及びJSAT及びスカパー協賛、スカパーに誘導しての加入促進支援を目的
  - ・ 110度新聞広告キャンペーン：e2対象、衛星会社およびチャンネルの協賛、認知向上と加入促進支援を目的
  - ・ アンテナ取付けキャンペーン：e2対象、通年・Dpaと共同、スカパー及びチャンネルの協賛、受信機に同梱
  - ・ チャンネルカフェ：六本木ヒルズで開催（08年3月24日～30日）、コンテンツ主体のイベント、チャンネル/プラットフォーム/ケーブルMSO等の協賛、テレビ/新聞/雑誌等への露出（共催チャンネルよりの希望者/特別協賛社/広告会社によるWGを組成し、イベント実施内容を検討）
- 第9期に引き続き会員の協力を得て社会に訴えるキャンペーンを以下のとおり行ないました。
  - ・ 会員のアンケートを基に環境保護についてキャンペーンを行うことを決定。「STOP地球温暖化」と銘打ち、視聴者にエネルギー節減を訴える第一弾及び第二弾のキャンペーンを行ないました。
  - ・ 第9期の「飲酒運転撲滅キャンペーン」に続き、第二弾のキャンペーンを行ないましたが、裁判での係争問題があり、残念ながら中断のやむなきに至りました。
- 「プラットフォームのガイドラインに関する協議会」の議論を経て改定されたスカパーのガイドラインに基づき、以下2委員会の活動を行ないました。（ホームページにて議事要旨を公表しています。）
  - ・ 「衛星放送のプラットフォームガイドラインに関する委員会」（放送事業者とプラットフォームとのガイドラインをめぐる対立の仲裁機関で、有識者、放送事業者代表及びスカパー代表により構成）原則4半期毎に開催しました。
  - ・ 「普及促進委員会」（放送事業者とプラットフォームが広告宣伝や販売促進施策について協議をする機関）原則親会及び施策検討WG（会員公募により委員を決定）を毎月開催して、販売促進及び解約防止等に関してスカパーとの意見交換を行ないました。
- 「HD委員会」を立ち上げ、HDに係る諸問題を検討し、現状と問題点を講演或いは報告書を通じ会員に提示しました。また、スカパーのH.264によるHD提案について、窓口として会員の意見を吸い上げ、スカパーに伝えました。

次に定例会議、委員会/部会活動等について報告します。それぞれの会議の概要についてはその都度毎月の月報で会員にお知らせをしていますので、ここでは、開催日と審議事項についてのみ記載いたします。

## (1) 定例会議

### (イ) 総会

#### 第12回定時総会（07年6月11日）

- ・ 第9期事業報告ならびに決算報告承認
- ・ 執行体制変更の報告（副会長1名→3名に増員及び新副会長選任）  
（総会后）
- ・ 講演会の開催（講師：野田日本大学教授、芸術学部長）
- ・ 懇親会の開催

#### 第13回定時総会（08年3月19日）

- ・ 第11期事業計画および収支予算案承認
- ・ 事務局規程改正（決裁権限の委譲）承認
- ・ 役員報酬規程制定の承認
- ・ 組織変更の報告
- ・ 次期会長候補推薦の報告
- ・ 会費改定案についての説明

### (ロ) 理事会

#### 第19回理事会（07年5月31日）

- ・ 第12回定時総会の議題の先議/承認並びに総会への付議を決議
- ・ 副会長増員承認及び新副会長選任
- ・ 「HD委員会」設置の承認および現状報告
- ・ 「衛星放送に関するガイドライン委員会」の委員選任(常任理事会)の報告
- ・ 「普及促進委員会」委員選任の報告
- ・ 「放送の現状アンケート」結果の報告

#### 第20回理事会（08年3月19日）

- ・ 第13回定時総会決議事項の先議/承認並びに総会への付議を決議
- ・ 組織変更（DTH部会を124/8度部会と110度部会に分割、広告部会の廃止）承認

### (ハ) 常任理事会兼部会長会

#### 第6回常任理事会兼部会長会（07年5月31日）

- ・ 第9期事業報告及び決算案承認→理事会/総会の承認が必要
- ・ 副会長選任案の承認→理事会の承認画必要
- ・ 「衛星放送のガイドラインに関する委員会」委員の選任

- ・ 「普及促進委員会」委員の選任
- ・ eTEN 及びワールドハイビジョンの入会（正会員）承認
- ・ HD委員会の目的及び委員構成の承認
- ・ 「放送状況アンケート」の結果報告

#### 第7回常任理事会兼部会長会（07年7月11日）

- ・ 07年度協会キャンペーン企画：広告会社4社のコンペでADKの提案に決定
- ・ e2プロモーションチャンネルについての検討経過報告
- ・ コンテンツ中心のイベント企画について、広告会社4社より提案を募集予定
- ・ 「通信・放送の総合法制に関する研究会」パブコメへの対応
- ・ ケーブルテレビショーの結果報告
- ・ 社会貢献キャンペーンのテーマ（環境）報告（会員のアンケート結果を基に決定）
- ・ 公正取引委員会の排除命令に関連して注意喚起

#### 第8回常任理事会兼部会長会（07年9月12日）

- ・ 次期会長候補推薦手続のとり進め方針承認
- ・ KDDI入会（賛助会員）承認
- ・ 携帯端末向けマルチメディア放送のパブコメについて、意見提出の報告
- ・ 「通信・放送の総合法体系に関する研究会」のヒアリング内容の報告
- ・ コンテンツ中心のイベント企画について、広告会社4社の提案と今後のとり進め方針の確認
- ・ HD委員会と技術部会共催による画質評価会の結果報告
- ・ CAB-Jパーティの予定報告

#### 第9回常任理事会兼部会長会（07年11月7日）

- ・ スカパーHDパック提案の概要をHD委員会が報告
- ・ コンテンツ中心のイベント企画について、協賛社との交渉経過を報告。また、提案4社の中で電通案の採用決定の報告
- ・ 「HD委員会」の今後の活動予定を報告
- ・ 「普及促進委員会」議事報告
- ・ 「ガイドラインに関する委員会」開催状況報告
- ・ 今期実績見込と会費改訂の必要性報告
- ・ コピーワンス緩和に伴う設備回収費用負担の報告

#### 第10回常任理事会兼部会長会（08年1月17日）

- ・ 次期会長候補として植村現会長を推薦することを決定
- ・ チャンネルカフェ予算見込と開催時期報告
- ・ 部会の来期事業計画及び予算案集計結果及び会費改訂の必要性報告
- ・ 飲酒運転撲滅キャンペーン第2弾を、事件が裁判で係争中であることから中止した経緯を報告

#### 第 11 回常任理事会兼部会長会（08 年度 3 月 12 日）

- ・ 植村次期会長候補の推薦受諾を報告
- ・ 第 11 期事業計画及び予算案の承認(組織変更を含む)→理事会/総会の承認が必要
- ・ 事務局規程改正案の承認 同上
- ・ 役員報酬規程案」制定の承認 同上
- ・ 総会議題案の承認→理事会の承認必要
- ・ 会費改定案承認（次回定時総会で諮る予定）
- ・ チャンエルカフェ準備状況についての報告

(二) 一水会（総務省衛星放送課と協会による原則偶数月開催の定例会議：協会側の説明は、部会、常任理事会等で報告されていることなので省略し、行政よりの説明事項のみ記載）

#### 4 月度一水会（07 年 4 月 11 日）

- ・ 放送法の改正について
  - ① NHK 対象—ガバナンスの強化、番組アーカイブの提供、新たな国際放送
  - ② 民放対象—認定持株会社制度の導入、有料放送管理業務の制度化、ワンセグ放送、委託放送の地位承継、有料放送の料金設定の規制緩和、再発防止計画の提出

#### 6 月度一水会（07 年 6 月 13 日）

- ・ 放送普及基本計画等の一部変更に係るパブコメについて

#### 8 月度一水会（07 年 8 月 8 日）

- ・ 受託国内放送を行なう放送衛星局の免許申請について
- ・ NHK の衛星放送の所有チャンネル数の在り方に関する研究会の発足について

#### 10 月度一水会（07 年 10 月 10 日）

- ・ 緊急地震通報について
- ・ 受託国内放送を行なう放送衛星局の免許申請受付閣下について
- ・ BS デジタル受信機に関する JEITA よりの回答

#### 12 月度一水会（07 年 12 月 5 日）

- ・ 放送衛星システム所属放送衛星局への予備免許について
- ・ World Independent Network Japan 社の委託業務認可の取り消しについて
- ・ デジタル放送推進のための行動計画の公表

#### 2 月度一水会（08 年 2 月 7 日）

- ・ 放送法改正に伴うパブコメについて
- ・ USEN に対する行政指導(警告)について
- ・ 放送コンテンツの制作取引の適正化の促進に関する件当会の開催について

(ホ) 2 者懇談会（日本ケーブルテレビ連盟と協会との原則隔月開催の定例会議）

#### 第 28 回 2 者懇（07 年 4 月 19 日）

- ・ ケーブルテレビによる番組共同購入について
- ・ 番組契約のガイドラインについて
- ・ コミチャンお試しキャンペーンについて
- ・ ケーブルテレビショー2007 について
- ・ 不法受信対策協議会について
- ・ 第 29 回 2 者懇 (07 年 7 月 2 日)
- ・ コミチャンお試しキャンペーンについて
- ・ 番組契約のガイドラインについて
- ・ ケーブルテレビショー2007 について
- ・ HD委員会について

**第 30 回 2 者懇 (07 年 9 月 19 日)**

- ・ C S コンテンツのHD化について
- ・ 簡易 STB について
- ・ ケーブルテレビ 2007 について
- ・ コンテンツ中心のイベント開催について
- ・ コミチャンお試しキャンペーンについて
- ・ STOP 地球温暖化キャンペーンについて
- ・ 契約書のガイドラインについて

**第 31 回 2 者懇 (07 年 11 月 14 日)**

- ・ HD画質評価会のアンケート調査結果について
- ・ ケーブル事業者向HDアンケート調査結果について
- ・ e2 トラモジ伝送について
- ・ STOP 地球温暖化キャンペーンへのケーブル事業者参加状況について
- ・ コミチャンのためしキャンペーンについて
- ・ C C J 事業説明会の概要について
- ・ コンテンツ中心のイベント企画の進捗状況について
- ・ ケーブルテレビショー2008 開催について
- ・ トップセミナー開催について
- ・ 協会/連盟の賀詞交歓会日程について
- ・ 飲酒運転撲滅キャンペーンについて

**第 32 回 2 者懇 (08 年 1 月 16 日)**

- ・ コミチャンのためしキャンペーンについて
- ・ ケーブル事業者向C S 110 度アンケート実施について
- ・ ケーブル局によるアナログ停波について
- ・ チャンネルカフェについて
- ・ ケーブルテレビ 2008 進捗状況について

- ・ ケイオプティコム番組の番組伝送について
- ・ ケーブル事業者向バルク契約に関するアンケート調査について
- ・ プロモーション協力依頼書について
- ・ 飲酒運転撲滅キャンペーンの中止について
- ・ 同一世代2代目のSTB課金について

### 第33回2者懇（08年3月25日）

- ・ HD委員会中間報告概要について
- ・ ケーブル事業者のCS110度アンケートの集計結果について
- ・ STOP地球温暖化キャンペーン第2弾について
- ・ コミチャンのためしキャンペーンについて
- ・ チャンネルカフェについて
- ・ ケーブルテレビショー2008の進捗状況について
- ・ ダビング10について
- ・ バルク契約について

## （2）委員会／部会活動

議事概要につきましては毎月の月報でご報告をしておりますのでここでは実施項目のみ  
列挙いたします。

### （2-1）総務委員会

#### （イ）総務部会

会長を補佐して協会全般の運営にかかわる施策の実施

- ・ 定時総会（07年6月/08年3月）、理事会（07年5月/08年3月）、常任理事会兼部会長会（原則奇数月開催）等定例会議の開催
- ・ 懇親会（07年6月11日）及び賀詞交歓会（08年1月11日）の開催
- ・ 協会設立10周年記念パーティ開催（チャンネルカフェオープニングも兼ねる）（08年3月24日）
- ・ 「プラットフォームガイドラインに関する委員会」開催（9月/1月）
- ・ 第9期事業報告・決算案作成（4月～5月）及び第11期事業計画・予算案作成（12月～3月）
- ・ 事務局規程改正案（管理費決裁権限の変更）、役員報酬規程案、永年勤続者表彰制度等現行規程の変更案及び新規規程等の制定案作成
- ・ 環境自主行動計画（業界CO<sub>2</sub>削減数値目標の設定、協会自主行動計画の改定、会員向説明会開催—08年1月11日、会員向自主行動計画モデルの提示）
- ・ 会費改定案作成
- ・ 新会員の勧誘
- ・ 事務局の管理

## (ロ) 広報部会

CS 多チャンネル放送の認知度を向上させるための活動

- ・ オリジナル番組調査アンケートの実施
- ・ 会長記者会見の開催：定時総会后（2007年6月/2008年3月）、賀詞交歓会前（1月）合計3回実施
- ・ ホームページの充実・維持・管理
- ・ 業界紙への出稿（B-maga、ケーブル新時代）
- ・ 社会貢献活動（STOP 地球温暖化キャンペーン第一/第二弾及び飲酒運転撲滅キャンペーン第二弾実施）
- ・ 現場担当者交流パーティ（07年11月29日）（宣伝・編成・制作等の若手交流）実施

## (ハ) 技術部会

HD について研究及び会員への啓蒙活動

- ・ CS110度のHDTV画質評価会の実施（07年8月31日 東北新社等々力、HD委員会と共催）
- ・ 新技術動向説明会（NAB視察報告会）の実施（07年6月20日）

## (2-2) コンプライアンス委員会

### (イ) 倫理部会

個人情報保護、広告放送等の倫理問題に関する行政との折衝、会員への啓蒙活動

- ・ CAB-Jとの共催セミナーの実施
  - ① 07年5月31日、 講師—JARO
  - ② 07年11月27日、 講師—公正取引委員会 テーマ：景品表示法
  - ③ 08年2月20日、 講師—テレビ朝日 テーマ：民放の広告審査
- ・ 「家族みんなでみようキャンペーン」（ホームページ）を継続。
- ・ 番組放送基準・考査に関して会員に注意喚起（07年5月）

### (ロ) 災害対策部会

災害に関する研究及び災害被害者への対応

- ・ 東京直下型地震への対応を研究し、事業継続の観点から会員事業者向けセミナーを実施（07年4月10日）
- ・ 能登半島沖地震(07年3月)及び新潟県中越沖地震(07年7月)に関して、会員の協力を得て義援金の募集に参加するよう視聴者に呼びかけた。また、スカパーと協力をして、上述2件に加えて、熊本県大雨、5号台風による宮崎県大雨（07年7月）、11号台風による秋田県大雨（07年9月）、低気圧による富山県大雨（08年3月）の被害者に対する視聴料免除をおこなった。

### (ハ) 著作権部会



著作権保護に関して、権利団体との交渉や、著作権保護のための施策を実施

- ・ JASRAC との協定書締結、但し無料・プロモ番組については引き続き交渉中
- ・ レコード協会、芸団協との 19 年度以降の協定の交渉。現在のところ進展なし。
- ・ 「不正コピー防止キャンペーン」の CF を作成。希望チャンネルで放映。
- ・ 講演会の開催
  - ① 07 年 5 月 30 日 デジタルコンテンツを取り巻く著作権の現状：講師 ACCS
  - ② 08 年 3 月 14 日 著作権ビジネス最前線：講師 魔法の i らんど
- ・ デジタル時代の著作権協議会や、経団連のエンタテイメント・コンテンツ産業部会において著作権保護に関する研究
- ・ 著作権管理団体の、日本写真家ユニオン、e ライセンス等との交渉
- ・ 音声連と会員社との交渉に係る共通事項の確認

## (2-3) 業務委員会

### (イ) DTH部会

#### (イ-1) 124/128 度分科会

- ・ CS 効果キャンペーンの実施（広告会社 4 社によるコンペを実施、基本プラン（Web 広告の提案を採用）を決定し、会員向説明会を実施して協賛社を募り、協賛する部会員によりキャンペーン細目を詰めるWGを組成して実施—協会活動の項参照）
- ・ スカパーとの販促及び解約防止施策に関する意見交換
- ・ CS 放送への加入意識分析を目的としたイベント来場者へのアンケート調査実施
- ・ スカパーガイドラインの別表の検討と提言

#### (イ-2) CS110 度分科会

110 度に関する普及促進の施策を実施

- ・ 04 年度より継続している 110 度の認知向上を目的とした、大型新聞広告を 07 年 7 月および 12 月の 2 回実施。更に元旦の別刷テレビ面に記事広告掲載。
- ・ 110 度加入者増を踏むため、BPA と共同してアンテナ設置キャンペーンの実施（協会活動の項参照）
- ・ スカパーとの販促施策に関する意見交換
- ・ ケーブルオペレータによる 110 度パススルーの要望に対して放送事業者の合意を図りつつ対応（原則的には問題点をクリアして再送信同意）
- ・ ダビングテンへの対応の検討と会員向説明会の実施（07 年 10 月 29 日及び 08 年 2 月 28 日＝技術部会及び著作権部会との共催）

### (ロ) ケーブル部会

両分科会共に課題ごとにWG（2～4 名）を設け、部会員全員が積極的に活動する体制を整えた。ケーブルテレビ連盟とは前掲のごとく 2 者懇談会を原則 2 ヶ月ごとに開催

し、関連する諸問題について意見交換

#### (ロ-1) 加入者拡大分科会

加入者拡大のための施策を検討

- ・ ケーブルテレビショー2007 に協力、協会が主催して協賛社を募りスタンプラリーを行なうと同時にカタログを作成して配布。カタログについては東海フェスタ及び関西ケーブルテレビショーでも配布。
- ・ コミュニティチャンネルを利用した、1千数百万世帯に上るケーブルに接続しているながら、多チャンネルに加入していない視聴者をターゲットとした、「コミチャンお試しキャンペーン」を実施。
- ・ イベント効率運用の検討とオペレータへの要望の検討
- ・ IPTVの同行を調査研究

#### (ロ-2) 業界問題分科会

サプライヤーとケーブルオペレータとの間の諸問題を検討

- ・ 共同購入問題の検討と対応
- ・ バルク適用問題の検討
- ・ 伝送問題の検討
- ・ 法人契約問題の検討
- ・ 世帯数適正報告の推進

#### (ハ) 広告部会

広告に関する研究

- ・ 業界動向に関する意見交換及び対応の検討
- ・ CS放送広告協議会(CAB-J)の施策に関する意見交換

#### (2-4) HD委員会 (委員をDTH部会/ケーブル部会より任命)

- ・ 講演会「CSハイビジョン放送の現状と将来」を開催(07年8月2日)
- ・ 会員にHDに関するアンケート調査の実施。同時にケーブル事業者にもケーブル連盟を通じてアンケート調査を実施。
- ・ スカパーの124/8度でのH.264によるHD提案の検討、会員よりの意見をスカパーに伝達
- ・ 中間報告書の作成とその説明会の開催(08年3月25日)

### 3. 会員の異動 (6月9日現在)

現在の会員数は次のとおりです。

- ・ 正会員：108社
- ・ 賛助会員：35社
- ・ 特別会員：13名

## Ⅱ. 衛星テレビ広告協議会（CAB-J）

### 1. 業界の概要

2007年の総広告費は、前年比101.1%、7兆0191億円と微増ながら4年連続の増加となった（電通による「日本の広告費」のインターネット広告費、プロモーションメディア広告費の推定範囲変更のため、総広告費数字が大幅に増加している）ものの、

地上波テレビ広告を含む「マス4媒体」を見てみると、前年比97.4%と3年連続で前年を下回る結果となった。その中でも最も構成比の高い「テレビ広告」は前年比99.1%と2006年の対前年比（98.8%）よりは好転したものの、前年比割れという状況は変わらなかった。「マス4媒体」広告費の減少傾向は今後も継続するトレンドに入ったとも感じられる。

対する衛星関連テレビ広告は、インターネット広告（前年比124.4%）とともに前年比110.8%と引き続き二桁増加となった。しかしながらその内訳を見てみると、デジタルTVの好調な出荷による「3000万突破」キャンペーンなど地上波キー局の有形無形の広報サポート・営業サポートに支えられたBSデジタルが前年比124.4%、加入者の伸びが若干鈍化したCSは、前年を割り込む97.9%とややBSデジタルの勢いに呑まれた結果となった。とはいえ、既存マス4媒体とは異なるデジタルメディアへの期待感は依然継続的と判断できることから、積極的な営業戦略による市場拡大を期待したい。

テレビ広告全体の業種別状況を見てみると、「官公庁、団体」（参議院選、環境関連出稿）や、「エネルギー・素材・機械」（ガス・遊技機関連）や「精密機器・事務用品」（デジタルカメラなど）21業種中11業種が前年を上回った。しかし構成比の高い「飲料・嗜好品」「化粧品・トイレットリー」「家電・AV機器」「自動車・関連品」「流通・小売業」や特に「金融・保険」などは前年割れだったため全体としては厳しい結果となった。衛星関連テレビ広告では「通信販売サービス」以外で突出した業種はなく、地上波テレビ広告とは異なる出稿傾向と思われる。広告主がまだ従来のテレビ広告とは異なる使い方のトライアルをしている状況のようだ。（電通調べ）

### 2. 衛星テレビ広告協議会の取り組み

#### （1）総会・監査

2007年4月16日衛星放送協会監事による監査実施

2007年5月14日 第4回総会開催

2008年3月5日 第5回総会開催

#### （2）VR機械式調査について

① 2006年4月26日 VRよりCAB-Jに対して日記式RVCSを機械式調査へ移行する提案

② VR機械式調査検討会を計8回実施。CAB-Jとして機械式調査に移行を

表明。

- ③ 2006年12月22日 VRは文書「機械式CS専門チャンネル接触率調査（RVCS2.0）の実施について」により2007年10月開始の旨を関係各社に通知
- ④ 引続きビデオリサーチによる機械式調査導入に際し「VR機械式調査専門ワーキンググループ」発足。2008年3月までに計20回の会議開催。
- ⑤ 2007年10月VRによる機械式調査38チャンネル参加で調査開始。  
(2008年4月現在39チャンネル参加)

(3) 説明会実施

内容：CSの現況と機械式調査導入について

(ア) 2007年7月19日 JAA（日本アドバイザーズ協会）電波専門委員会  
20名出席

(イ) 2007年11月30日（株）フロンテッジ営業30名出席

(4) 正会員・賛助会員に対する勉強会の実施

2007年7月10日

VR機械式調査現状報告会（VR機械式調査 10月スタートにあたって）

2008年2月1日

講演1

『近年の広告の潮流と、これからのコミュニケーション戦略』

講師：パイオニア(株) 仙波氏

講演2

『機械式CS専門チャンネル接触率共同調査 調査の概要とデータの傾向について』

講師：(株)ビデオリサーチ 新田氏

(5) 衛星放送協会倫理部会／CAB-J総務・広報委員会共催セミナー開催

2007年5月29日、2007年11月27日、2008年2月20日

計3回開催（詳細は総務・広報委員会報告で）

(6) 広告売上調査実施

2006年度 199億円

2007年度 195億円（前年比97.9%）となった

(7) 正会員社・賛助会員社入会状況

2008年5月現在

正会員社 39社 60チャンネル

賛助会員社 16社

### 3. 委員会活動

## 総務・広報委員会

### (1) CATV世帯数調査

2007年6月末、12月末の世帯数調査を2回実施。

2007年12月末の世帯数はケーブルテレビ、スカパー（IPを含む）の合計が1,074万世帯、前年対比103.8%となった。

### (2) 広告考査関連活動

**A**：衛星放送協会倫理部会とCAB-J共催セミナーを3回実施。

それぞれのセミナーの参加者は80名以上となった。

#### 第1回

実施日：2007年5月29日（火）

テーマ：『JAROの活動概要と審査事例』

講師：（社）日本広告審査機構（JARO） 専務理事 宍戸旦氏

#### 第2回

実施日：2007年11月27日（火）

テーマ：『放送事業者のための「景品表示法」について』

講師：公正取引委員会 内野雅美氏

#### 第3回

実施日：2008年2月20日（水）

テーマ：『地上波テレビの考査について』

講師：株式会社テレビ朝日営業局CM部 CM部長 本田泰造氏

**B**：日々の業務に従事しているCAB-J会員社・担当者の方々に役に立つ情報を社団法人日本広告審査機構（JARO）の会報誌より広告に関する記事を抜粋し、その内容を会員のみに配信した。

### (3) CAB-Jホームページ維持管理

最新データと情報掲載の為にCAB-Jホームページ担当をCAB-J会員とは別に設定し各会員チャンネルの更新頻度アップを図った。

## 営業推進委員会

### (1) CAB-Jパーティ2007

広告会社・広告主協会・広告業協会を対象に、CAB-Jの活動報告とCSメディアの現状をより深く理解してもらうための媒体説明会、及び懇親パーティを9月26日水曜日に実施。媒体説明会では、ビデオリサーチ社と連動し接触率調査の機械式移行について説明するとともに、最新の広告事例紹介などを行った。当日の総出席者は511名と昨年度の480名を上回った。

### (2) CAB-Jセミナーin関西

広告会社を対象に昨年に引き続き関西地区でのCS媒体説明会、及び懇親パーティ

を10月23日に大阪で実施。当日の総出席者は150名。

(3) CS広告事例紹介映像作成

CSの媒体特色を視覚的にアピールするために広告事例紹介映像を作成。

CAB-Jパーティやセミナーなど媒体説明会場での使用、及び各局のセールスツールとして活用した。

(4) 広告出稿調査

CS広告の現状把握を目的として、四半期ごとの正会員各社の出稿社、及び出稿内容の調査を実施。集計データ、出稿社一覧をとりまとめた。参考資料として正会員・賛助会員各社へ配布した。

### メディアデータ委員会

(1) CAB-Jメディアデータブック制作

委員会内に編集委員会を組織し、CAB-Jパーティ（2007年9月26日）前に8,000部印刷完了。

今回のトピックは3社への広告主インタビューの実施（前年は2社）と機械式調査秋導入の告知。

(2) VR機械式調査専門ワーキンググループの運営

議長・副議長をメディアデータ委員が兼務し、機械式調査の10月スタートに向け、「利用者側の要望を取り入れ、より良いアウトプット仕様、調査設計を決めていくこと」を目的に計20回の会議を実施。第1回付帯調査仕様決定し、参加社とVRの運用体制を確立した。10月調査開始後は、データの評価とVR基本報告書の仕様変更等を検討。

ワーキンググループ内に第一分科会を設立し、共同調査運用上の参加ルール検討や対外発表についての検討を行い、ワーキンググループに報告した。

以上